

実践栄養学研究セミナー(初級編) 第1回 13:15~16:45

開催の挨拶、自己紹介

- 1) 講義「実践栄養学研究セミナーの目的と内容」
- 2) 講義「実践栄養学研究(実務から生まれる研究)の意義」
- 3) 講義「研究計画の作り方」
- 4) 演習「課題を見つけて研究計画を作る」

本セミナー(初級編)は、参加者が自身の実践現場で持っている課題を研究テーマにして、研究計画の作成、データのまとめ方、発表原稿の作成などについて、4回に渡って学んでいき、最終的に学会発表を行うことを目的に実施していきます。本セミナーには7名の方に参加いただきました。

まず、白井禎朗先生(金城学院大学)からセミナー開催の挨拶が行われ、講師・オブザーバーの紹介と参加者の自己紹介があり、第1回から第4回の全体の流れや注意事項などの説明がありました。

1)と2)の講師は平田なつひ先生(金城学院大学)でした。最初に実践栄養学とは「研究成果をもって人々の望ましい食生活と健康の維持増進に役立つこと、すなわち実践を伴う点に特徴を有する学術」であると説明がありました。また、本セミナーの目標である学会発表を行うことで自身だけでなく同じ業務を行っている人に対する情報発信となり、栄養士・管理栄養士全体の業務レベル向上につながることや、目的である研究論文を書くことで栄養業務に関するエビデンスとなり、さらに他職種にも栄養業務の重要性や意義をアピールできると説明がありました。



3)の講師は佐久間理英先生(椋山女学園大学)でした。まず、研究とは何をする事なのか、研究はどのような流れで行うのかについての説明がありました。次に、実際に研究するためには現在明らかになっていることを文献によって調べる必要があることが説明され、具体的な文献の検索方法について解説がありました。そして、研究目的を達成するためには研究計画の立て方が重要であることが述べられ、研究方法の種類や交絡因子、実際の調査方法について例を示しながら説明がありました。最後に、研究を行うにあたって、倫理的配慮の重要性について説明がありました。



4)は3つのグループに分かれ、それぞれの課題を出し合い、研究目的、方法、予想される結果等、研究計画を立てるために必要な事柄について討議しました。



文責) 実践栄養学研究セミナー講師一同